

<学校関係者評価>

1. 日 時： 令和2年3月2日（月） 第1回学校関係者評価委員会開催
2. 出席者： 評価委員 10名 学校職員 3名
3. スケジュール
 - 1) 挨拶
 - 2) 学校自己評価 報告
 - 3) 質疑応答
4. 評価委員からの主な意見

教育活動	実習病院では、学校の教育方針や臨床指導者会での意見等は副部長を含めて共有している。臨地実習での経験を教材化することによる学びについて、院内での臨床指導者としてのラダー評価の基準を考えている。
	臨床指導者として、臨地実習で活用できるような考える努力、気づきを生み出す能力につなげる指導力を強化したいと考えている。学校側と臨床指導者との連携をさらに深めてほしい。
学習支援	保護者会開催は重要である。現場でも入職後なじめず辞めてしまう新人もいる。仲間作りが上手にできない。保護者への情報発信、交換が必要と感じている。育成に時間がかかる。卒後支援も情報共有しながら協働したい。
	学生は経済面では親のサポートが必要。保護者との連携は学校生活では見えない生活背景を知る機会になる。カウンセリングの充実も含めて、退学者数「0」をめざしてほしい。
	社会人となっても自立しない人が増えてきている。学校でも社会人としての自立支援を行なってほしい。
	看護を目指す人が進路変更しないような働きかけを努力してほしい。
学校評価	<p>質問：学校評価は年度毎に行っているのか。問題や課題への取り組みは？中長期計画が教職員の中であるのか。</p> <p>【学校】大項目を評価基準とした学校評価は昨年度にはじめた。本校独自の運営計画に基づき課題解決への取り組みを行っている。2022年のカリキュラム改正に向けた教育の見直しが行われている。</p>

5. 総括及び次年度の課題

報告については、学校の運営、教育活動を理解できる内容だったと評論を頂いた。概ね、運営、教育活動に問題はないといえる。上記意見から、今後の課題として、保護者との連携、臨床との連携による教育活動の質の向上が挙げられた。